



千葉市立貝塚中学校 学校だより

校訓： 自主・創造・練磨

第28号

令和3年3月1日発行
千葉市立貝塚中学校

TEL231-7077

◆公立高等学校入試終了◆

校長 北島 啓行

県内の公立高校入試が24日(水)、25日(木)の2日間で実施されました。前年度まで前期・後期選抜に分かれていましたが、本年度から一本化され、全日制の平均倍率は1.08倍でした。

本校では、私立第一希望で既に50名ほどが進路決定をしており、残りの150名ほどが決戦の日を迎えました。今年は例年のインフルエンザに加え、新型コロナウイルスでこの2日間の日程で受検できない生徒に『特例追試』が設けられていましたが、本校では該当する生徒もいなく、無事に受検することができました。2日間とも晴天に恵まれ、順調に試験を終えることができました。

合格発表は3月5日(金)9:00に掲示発表、11:00にWEB発表されます。

千葉市内(第一学区)で、貝塚中学校より受検した各校の志願倍率

- ・千葉(1.50) ・千葉女子普(1.05) ・千葉東(1.34) ・千葉商業(1.07)
- ・京葉工業・機械(0.88) ・京葉工業・建設(1.25) ・千葉工業・電子機械(1.16)
- ・千葉南(1.23) ・検見川(1.34) ・千葉北(1.19) ・若松(1.17)
- ・千城台(0.89) ・生浜(1.01) ・磯辺(1.23) ・泉(1.01) 幕張総合(1.48)
- ・柏井(1.11) ・土気(0.90) ・千葉西(1.24) ・犢橋(1.06)

◆第4回定期テスト◆

第4回定期テストの結果を返却しました。1, 2年生は今年最後の試験、3年生は公立高校入試に向けてということで、どの生徒も気合を入れて臨んだことと思います。学習相談を設けるなど、テストに向けて雰囲気づくりや準備を行ってきましたが、ご家庭での学習状況はいかがだったでしょうか。

来年の今頃、2年生は公立高校入試に向けて更に高いレベルのテストに挑戦することになります。また、1年生は1年間の総まとめのテストになり、今年1年の自分の学習成果を確かめる意味でも大切なテストであったと思います。返却された結果をよく振り返り、次年度につなげていただければ幸いです。

<各学年の平均点>

	国語	社会	数学	理科	外国語	5教科	保体	技・家
1年	55.5	53.7	52.7	58.7	52.7	273.2	28.6	31.4
2年	56.0	52.6	65.6	61.6	54.0	298.2	32.3	35.6

※保体、技・家は50点満点です

◆Kタイム実施アンケートより◆

※1～4の4段階

質 問 項 目		1年	2年	3年
Kタイムを通して、以前より	文章を理解できるようになった。	2.2	2.3	2.3
	表やグラフなどの資料から読み取れるようになった。	2.2	2.3	2.3
	自分の考えや思っていることを書けるようになった。	2.0	2.2	2.3
	質問や課題に対して、深く考えられるようになった。	2.1	2.3	2.2
	長い文章を読むのが得意になった。	2.3	2.5	2.5
	新しい言葉や知識が身に付いた。	1.9	2.0	2.1
家庭学習の足跡で	家庭学習の習慣が身に付いた。	2.2	2.4	2.3
	毎回欠かさず提出することができた。	1.7	2.4	1.6

本校では、今年度より言語活動の充実を目指した取組を行っており、

- ① 体験や感じ取ったことを表現する。
- ② 事実を正確に理解し伝達する。
- ③ 概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする。
- ④ 互いの考え方を伝え合い、自分の考えや集団の考えを発展させる。
- ⑤ 課題について、構想を立て実践し、評価・改善する。
- ⑥ 情報を分析・評価し、論述する。などを目的としています。

各質問項目回答の平均値が2.0～2.5(より低い数値のほうが上位回答)に収まっていることから、Kタイムの取組を通して、学力向上に一定の効果を感じていることがわかりました。特に、「深く考えること」「新しい言葉や知識の習得」に関しては顕著でした。これは、Kタイムで利用している媒体が、「読売ワークシート通信」という新聞がもとに作成されていること、質問の形式が国語の読み取り形式のようにになっていることが要因と考えられます。

逆に、「表やグラフの読み取り」や「長文理解」については低い評価でした。これは、表やグラフを読み取る回数が少なかったことや長文を読むことに対する抵抗感が強い生徒が多数いること、言葉の使い方や漢字に対する知識量が低い生徒がいることが考えられます。

言語力はこれからの時代に生きていく子どもたちにとって、必要不可欠な力です。今後も、今年度の取組を検証し、来年度につなげていきたいと思えます。

◆思春期教室◆

2年生では、1月末に「思春期教室」を実施しました。

第1部は、保健委員会による「心とからだの健康」についてのアンケート結果の発表を行いました。「睡眠・朝食」「情報機器と健康」「思春期の心」「コミュニケーション」についてのアンケート結果を考察し、まとめました。睡眠やスマホなどの情報機器の利用状況については、課題をもった生徒が多く、生活の見直しが必要であることがわかりました。

第2部では、助産師の川島広江先生にご講演いただきました。今回は緊急事態宣言中のため、zoomを利用したリモートでの講演となりましたが、思春期真っ只中の生徒たちに伝えたいことを熱く語っていただき、自他のいのちについて考える機会となりました。

